更新和三年日十月八年九州治明)

募る敵の鬼

の外変的抗酸であるでは敵の鼠心

は微動だもしたいのである。敵の 記は保護してあるのでもない。

おいてもこの種酸の不去行動に對

定といる大阪から見て、政策時に

者としてとらざるとうろである。

がそのまく入りこんである。 能品の 傾給についても同様の 情質

救助された。コピマ 配面にるでいる「第日

又科系の定員縮減

理工科系は工業専門學校を擴大

以上によって理科系は人種定

焼し臭徒の研究的量とくもに外因

西歐空襲下火

養験のため世日幽田取務

中廿六日夜酹城

島脈長は平安南北道の

門北道を視察

流聴家がたく各地の

◆表容左平氏

満州輸入材折断のため新京出張・安谷佐平氏(朝木毗常移頼縣) 城中廿七日腳阪

これで、一個の東京教徒を持ちない場合の大学で、一個の東京教徒を持ちる政策が比べ、自然の表現をして、自然の大学を表現を表現していません。

物の機両者金井良太郎博士の製御

であらゆる骨の病を更生させ質量

者に腐ぜれてゐます。

初めての方へは、金井良太郎は

に肌関して完全なる決戦機能に続

高はの過程機形は減島の旅移

向がなり

後十時の五分間地酸、京城に

聖務局總長

◆櫟木幹維氏 (同敗締役商長) 同 参山へ、五月三日嗣城豫定

骨關

鹼

炎 ·

膜

炎

節

炎

٠ 骨 骨軟化症

○井上正明氏(大阪顧船等務)入

温病の在衆を爲し帽津に來

○新貝烯氏(前鮮有糖炭疽社々長)

約三過間の豫定で廿五日朝京城

パピリオ

伊東化學研究所

、専門校の整備

や配給船舶的以のもので間后

ある」などとめくまでコロマ

であるからといってこの紫の取行

接を得て、この兩陣地に対し 心死となって阻止せんとしてある

我領域に根据し、今まで後方にあ

かくてバレルの第廿冊開王方は

(印緬國境前線 〇〇

医師助をOO阿立に推進レディ、甘大日午前カロリン議解メション てその と師助をOO阿立に推進レディ、甘大日午前カロリン議解メション てその

てその一機を曖昧した、わが方が これを歌歌、触烈ない中級をなへ とか、わが所在部院は辿らに

題製集を小止した大製では「鳳囲

三班は廿六日編建省は、廿七日維

廿六日夜木浦崙、廿七

てどれを行ふこと

消

息

きと、はねかへす。

の戦場。この持場に、たらき込見よいわれら、正義の怒りを、る

敵、何するものぞ。

地状況を聴取した

前中は塩頭局會醫室 定通り午前七時卅分

配所の取扱で就ては木府と迎じ一般はすることを辿りたける開始

思がある。また文科系は他の

ディマブールに重壓

振點を確保するに至った

即地を制御、阿要以攻略の戦略的 サイボム、シエナム前面の第一線

て家の観覚され物種とない。一片、れらはまなそれ相様の腐骸をとらである。しかし間はこれに対して、句の紅素の沙汰であると下ればわ

社

法が際はずでに十三回に及んだ。

木英のわが約年間に対する不

やけず、野に静え

んであるのでもない。最初から良

のはいかなるものかわれらの開知 して
動主報が手関と
出つべきこと ねばならない。原候自相は隣面に

類の結結状験からして、その確立 ではないかと思ばれる。しかも物 はも早や高級の最後制度の松本的 会ものではないが、國民生活の安 こそすれ、何ら不平不満ないるべ

以てこれを組ひ、既に支障がある

といふならば他の手段を以てこれ

欠阻がなほあるならば他の方法を 最終なりと信ぜられる施策として に網絡するのは明氣ある行政階級

しんであるといふ傾向の特に強い恋が物々交換のために備へて質悟

が遅れくば遅れるほど問題は難か なる一方である。政府は決戦

文旗いい就で知らぬが佛をきめこ。を宮明した。その報が手段なるも

論。野道の持さいかで言

本年一月廿六日の吉野丸

了一四日の構丸の場合もさってあ

- が疑約による病院的なるの様。この象数と強し去ったアングロサ

を急げ 綜合配給制

今日これ以上の以来はいらくめた。具態的の認識はこくに省くが

の仕属ともまぶたも連載と近いいか。現行の米製品給側度は物質 **種種の機械的配換があるのではな** を状除するといふとうろに行政力

なほこれらの非道職を封ずる手

る一方、プリベマ東方八キロの〇 って、長鼠機材を同方面に増加す 厥は沙日別重めるひは帰還機をも がらもディマプール方面に對する を職保してあるやうな意味をしな

能の駆力増大に脅威を吸じた

る級に解地を補残するとともに

進めてゐたが、その大学の整理統

料系の関格は、米の質ね一分の

構工は短期養成をご配とした 方理科系観夜の透情流光につ

となり、出動機数の減少してゐる「領地區に對する空間はやゝ下火

世六日に至りドイツならびに西以 の飛行場攻陸に主力を注いだが、 (ベルリン廿六日同盟) 皮傷軸空

凡ゆる有熱疾患に

效果

確質

(一)専門感復で統合したものは

から中部へ侵入したが、密謀と

可領導體是 STATE TOWN

> 香は、東京市小石川等小日向台の 人一般限り機配いたします。常は 大阪(骨の例の手製法)助子を一

二丁自学子三番り 総木コンペー

1角に微申込み下さい。

→ 整形外科会并良太邮傅士述

「行の病の手管法」册干適量

九州經濟時學校(九州語

等域門別をの創設なる整備総合を、大規定自の時均三分の一規度、火機能量が減りにご言私立大器、高一部および被付の人製定員は危來の

知るべきである。しかしわれらば

理をつくした抗震は自草や無用と「傷さる。われらの神が後の緒はす 心などという人間の意心は持ち合・すべきところでないが、この時期

歌の意識的に行った故意の非行で、捨てごるや得なかった彼島の本性

して死た。現在館局が次から次へ るにつれていよい上級紙の既を増 もの、供給がますく配摘さられ

であらう。勿論足らざる物質にす が含む得る。格局はこの綜合試給

これを抱合せて何世先に届けると 影初の人間があれば大豆に代へて 配透期限が一來なくても例へば小 その他代用食品の担合さいに給所 響の態度においてすら混食用総数 成績をあげてある。しかしその最

の消費者と同一の価値を称する物 | 六一路 地を制 限してコヒマ問題

ついたので終門後の交科系大風、 系統門題校の描述も一般その緒に

高級および新設理科系東門四枚の

なのは綜合的操作によってすべて ある。そしてそれにも増して必要

> の確認に必死となって必ずが ズブザ、キルヘマ川近に戦撃車砲 コヒマ西方ハキロのジョトソマ、 〇をはじめ プリペマ原西を 連ね

| 々築結して ディマブール道

研釈、関聯に職物とお店部式科一、大部月前科・な教科におい魔などによる自然的総合を選めた。 自機として整門を何めた結果

は新完員約三千三百人除じて

領域以數法約五十二百人、整備 門比し約六緒間の細域とな 期間較大流門部を含む)

合を終り御絵の残梗についても棚一一様形にそれぐく論戦することを

かに且づ殿格に記せられるべきで

の自由契例の除地が修されてある。

呼も非すものではなく。 考れこそ よって、 頻なくら神士の 間面を 脱さ

心はもつてある。この世界機争に クソンとニダヤ民族を未だ人間と

レ飜旗車紡色三のり誇・ペーリデ下の援支軍皇

直衛陣地突入

軍民國度印るす撃進を林密

員廿六日製」ペレル東

我常家は頭車を先頭と近隣して来しンボン附近で油蔵状態したった

ル要塞陷落近し

時わが四里機能機能は配示(河南

の攻撃も日を送って熾烈化レクト

「ラベウル廿七日同盟」廿五日年

校、院波工築場門一校、石油工等場門四夜、滑丝工業時

日本キリスト教神器は一般役

山下查察使

またズブザ方面に対するわが方

【OCH P目同盟】廿五日午後1

陸鷲河南に進攻

した模様である 御と確地は十九日と來物返る的始 で、ジョトンマ西方二キロの酸

盧市を猛爆

在部隊はこれと交談、その

施

るるので工業署門題校の搬元が

開発機役及び補知山高等概念

駅四島応事門職役 (駅四島)

能した、わが方被響なし

ウルに

た英人部隊二百を一兵も然る子職

第廿三面圏の機能を対集めて

この日敷の地上個火は熾烈を極め

概と航空体隊の推議機関によって の機関はいよく関連首別の形を

> 三機を脳破した、わが方地上の衝 際はこれと赤殿、その三陽空場際

のほか新禄を認めたものに時间、期門副校その他十一校に及び右

最も緊切であり、かつ相低の

のであるが、そのほか私立大劇の 統合ならびに過元などを概能した

電色を出で同九時世分

備考

精進

一年必ず勝つ

必要に即じ機に開み影像の種

補給をうけ一日約二千銭の撮影が

見機が來職したが、わが所在部 前午後にわたりラバウルに叡戦場

CID 大量とついては目下進帯中

第三班京城へ

きる。健の配置は道に於てむる適当なる作業を選び動詞すると

置は廿七日午前八時

山を査察

たが全機無料は遭した

雨を降らせこれを炎上せどかた。

せるほか市街の単著施設と言題の 着西部)に

進攻し

同飛行場を

壊砕

なってある ジ

に封峙して涿次これを制要し遂に 地を奇機して占領、版と至沂原職の合

ヨト

ソ

マ猛攻

加へている

大型十九機

南島四尾方面に散りる、四種が採

校、大日本州空工編書、墨仪の豊門縣校、東西石油工架場門。

歌と「招強大器」があり、「問題

[海口廿七日同盟] 廿四日小袋

海南島西岸に四機

メレヨン來襲

車の形にて午前十時宮城御出門、

總督府とな

リスの地中海監察元

握し具物及風科の稲類、原年の程

真の態態を行ひ、質問に即願する

ロンドンで開催されてゐを米英外

【ストツクホルム廿六日同盟】ロ

談した際にもグーゼフがこれに加

大統領級響アメリーは廿三日ル

内容は逐一ソビエート政府へも通

米英外交會談終る

東米大阪ワイノテントが美國外相

する『恥愛」としてこの停止を要

エール図が参阅してあないのを連

由にエール代表を招談したい方針

大戦の戦費一兆ドル

シントン採電ー海軍消息筋の滑ら

ウイスコン「ウスボンけ

損長ムザフエル・ゴエケル氏を東

土國駐日大使更迭 その裝備の詳細は一切不明で

リタボン廿五日同盟」アンカラ

能を殺揮し得る如く措 対及動員押間=(イ)

系學生生徒

の要求を勘案し即告

京監督大厦と任命した富士五日競

予州の残虐な爆撃破損は文明に對 によれば來るべき英語園議論にも トに對して抗議を提出、反播軸軍、治を加へてゐるが、ロンドン死位

してをり廿五日ステデニアス

彈

幕

に依る機動性の競撻に答むべし、

ど米國務次官ステチニアスとの長

米の牧師、

耆

述家盲爆抗議

ス雄が叛亂ギリシャ度隊、軍艦とに回復した。廿二日夜イギリを全部の間には今や秩序は完

層能動質の電際に能りては克く

決定、無に敵務然監から各道部に知事に通牒を發すると共に城大総長、各員公私立東門観徳長、 實情に即し創意 歴校長宛にも通牒し「最終別度在断員基準」を示した。これによって本府に歴在動員本部が設置 各官立部夜長、各公私立里門県夜長に後せられ同時に「朝鮮網番府島徒動日本部郡廷」も訓令 引展在動員本部を組織し管下學徒の動員を統制運営することになった 教育の完成ご増産へ 經路の決敗非常膨動への全面的切響へともいへる「興徒動員懷制」が各道

> のなれば、常と矜持と顕戦の態度 徒の本分を以て質疑修練に従ふら

> > 懸徒に對し他日巧莚の都公よりも

本部長は必要で励じ

派し各部内で班

順三、經理に関する事質四、其

能に願せざる場項

上級は通年

動

緊急に應じて下級を

屋威の隆智岐るるの秋、時局は

今日即災の泉政なる既身を要認す

機形をして緊ਆ回かし

暴強さて、連絡及時間で騒ぎる事、土地科系製作の動画と関する事項。一般各企製に襲する。土地科系製作の動画と関する事項。

文科系製徒の動画に関する新頂

朝鮮總督府學徒動員本部機構一覽

學徒動員實施妥綱

3、紫皙配識=趣作釧勢に對すること •

之を取締め關係方面と協議の上

第一學年は荔時緊急なるものに則とし通年動員すること(ハ)

機交科系に難じて攻 機に進じて取扱など

することで観音観音=選に於て 院開業及び運搬事業等にも動員 じ位置の増善及で重荷、國防施

檄文科系に進じて取

(イ)可及的に昼夜設備を工場、助員方針及助り垣間、出動先 女子の學校

學校

に依る學校別學徒

- 國防原發

意識を結々謎からしむるものとい の増頭と雨々相俟つて處徒動員の

てロンドン暦在中前後數回にわた ステチニアスは米英宮駅と併行し

は見るに忍びずとしてルーズベル

成して以來、傾にエール政府に既

一兆ドルに達し前大戦の調戦智在迄に戦資として支出した標本

今次大戰物赞以來從戰谷國法現

ウイスコンシン線はすでに就役

日戦時内閣は約四日五十萬磅の

死電ー脳洲外相メーキセンは甘

り作業效応を伏下する

動員は通年動員とし

合は循環が称を将随

と言語と

、但し健適仲仕中沖仲含む)等の作業に動品

1、動員方針及び動員期間、出助四、一面業學校

業又は工場、事業場

広郷工農保に準じ其の 四十二場、高架場の割

ふを原則とし土地の状況等に 原光 一概ね工業學校に 確じて 取扱

ギリス販府は福軸公郎の帰鎖を要

「ストツクホルム廿六日同盟」イ

英、エール壓迫強化

次大戦の戦極につき次の通り参表

を終へ、量近酸隊に職人されたと 「リスポン廿六日同盟」アデレイド

際ウイスコンシン能はすでに厳悲 す所によれば米國海軍の超層級戦

豪州で巡洋艦建造

と(ハ)工場、事業質は必要に関じ適宜

們將軍業及澳州语学 (ロ)食服の塩素及

ン來電=戸福軸經濟救濟復興南義

副語長ホンドリクソンは廿六日今

前歐州各地で對する非人道的盲機 同盟、ワシントン來館ー米國著名

の牧師および響派家廿八名は敷日

なる歌果を収めたかは不明だが、

了した、今回の曾詡が製して如何 時間にわたる智談をもつて一個終

弾むべきなり、出動感症は聴恣駆ぶべく、最も周到なる用粒を以て

此の間星國を中核とする大東距共 時局は更に概括動員艦制の副期的 楽り、機雷風徒亦霊々文武の修釈 理化を促すこと切なり、助ちなど 一般別島徒動員基準を明かにする 共に、更に単征動員の服力なる 極去動勢軽國に挺身し來れるも 剛 直に配線の勝利に通ふものなると らしむべし・
の以て华島跡券に蘇一新の戦機
た とを目標して作業能率の局上と劣

存

臓なく挙げしめんことを期すべき

の強調に平紫修文線武の成果を漸

馬鞭の 反攻艦々嫌烈。を極むるも 大東語の戦局今や最高朝に達し版

同神社御後、宮尻に海路あらから

親しく御練めらせられる

運動を明さんがため不行と駆 版はしめ、取力の飛躍的場所 第一條題徒動員の計畫程立、

整顔及整測は本部長の命を張け 部員は上司の指揮を取け部務に 状況に無じ戦職員を中心とするは の知識技能の程度心身酸器の せしめんとす、これにより半

意識等に断身せしむるの方流成 織をりて戦時必需物質の増産、緊 第二條 恩徒動資本部は本部長一 人、次蒙一人、都長三人、

參與元齡每次納鮮網督府部內高 第五版 郷に助資本部とだの言語 本部長、政務總監

動員本部規定期鮮總督府學徒 常四條本部長広朗鮮網督の命を 際官の中よ

次には本部長の命を遂げ各部の 本部長期故あると主は次於之気

部長は上司の命を承庁部務を第

部所は上司の命を軍け部務を警 **第**一局長

整新局長

部

即

大學專

参事 ノ等の農科を含む)人動員方針及一、工婦関係(敷展、物理、化品

後の就職とも服み合せ分配して

での導攻騒科に随じ力めて卒業 S動員規間= (イ) 第三國年は

ること(ロ)第二層年度その専

温度、航空課長、工務課長

課長、燃料課長、階類観台、林峯謀長、

勞為課意、企業課長、難山課長、經綸課長、輕仓隱化學 文書館遭诏官、人際應款、游樂觀号、佛彩觀兴、山方聽致

のに助けること

1、助員方針及動與期間॥(イ)

を関している。 関目とすること(ロ) ののに関手を書から、(ロ) ののに関手を書かる。(ハ) ののに関手を書かる。(ハ) ののに関手を書かる。(ハ) ののに関手を書かる。(ハ) ののに関手を書かる。(ハ)

も価値の完備せる場合に限り数

(ハ)出動は通勤を建削とする

連じ工場、嘉業場への動員は工設への動員は開発と

製料に魅じ地域的景観の観光の 素學校 **校**

餘力に付通年動員とし高級年よ

すること(ロ)工場、事業場に

場合は循環交替を掲慮することなき

出動先上軍病院、工場編業場

事業場及試験研究施設等(早)

2、出動先一(イ) 斯罗尔字風 ること 年に臨時懸急なるものに動員す

附屬构院,與核附屬網院,

第三層学は通年動資を原則とし、動員方針及動員期間=(イ)

農業學校 盤配容■道に於て行ふを原準じて取扱ふこと 製量すること 大學第一學校歷工關

扱ふこと
収納料に順じ帥各項に確じて取

の唐龍配霞は風粉局、其の他の鬱龍配霞――原門風後程院のも

授くる影核の最初を正場、衝撃とと(木)特殊の専門的技能を

墨年及第一墨年以中

を調じただけであつた。しかし 動の配機は明らかに天候降件の 数の配機は明らかに天候降件の ため不停着を余義なくされた破 ため不停着を余義なくされた破 ため不停着を余義なくされた破 各 1種學校

工芸螺校に適じて取扱ふごと 或 民 學 校

上原旅客自

川動

古社代

爾蘇一手販賣元 爾蘇二亞樂品產業株式會社 (資前名 株式會社

を行ひ作業の種目等に依り作業 工場。 筑務場に對する動質は通 工場。 筑務場に對する動質は通 道に於て行ふを原則とす機段関係に確するも判監經所は 趣年及第一墨年の生徒は土地の 效率を低下することなき場合は 備的が旨を考慮す(ロ)第一 中學校

第00- × 配計二級 銀点・

則とする問題=道に於て行ふを原 狀況並に心身の鏡蓮を考慮し通 でなる作業を選び出動せしむる

南京虫殺滅 中京虫殺滅 南京虫殺滅 南際の周囲に散い で腹る。安眠可能

奮起奉公の誠を 内相、地方吏員に要望、

変施したが、厥赖令の全文左の如

一勅令全文

を發表、全國市町村史員の新記録 憲ならびに自治功勞者表彰制貨施作即張を押し劇用的な市町村長屋 に際し安藤内相は次の要旨の談話 待遇にあって日夜教々として傷 で、概して非薄なる るにも地にず、概して非薄なる をの極めて貳へ勢效の闘る大な のであれて貳へ勢效の闘る大な 堪へざる所である

惟ふに時週の進展と伴び地方自 に原甸し時観克服のため戦力結 の戦の中心皆任を摘ふわが頭の 調を外り彼らず、地方自治の

・白本と協力して共同の戦を力強 族はあるひば武塔をとつて戦場能ふに今日大東亞の各隣諸民 に立ち、あるひは権列なる敵の 念し来られたことは海に威嚇に

任官を以て得遇す

一條 京都市,大阪市、横着市

に関する件 市町村長の待遇

長は朝任官を以て待遇すること

削除の規定に依り勅任官

く成成きつくある。しかしてこ

同處理する町村組合の管理者は

安藤內相談

第七條 朝鮮、台灣文は関東州に 外地も準用 は勝其文は解果州内将官ごれを が、その第一類手として緑柱石、 動物はその

配容

状態

から

見て

すべ し、既市、既町村一致協和の費 を限げ、もつて國家の蘇港に原 を開げ、もつて國家の蘇港に原 さらにく飛躍を受ければない。 定、甘六日附高報で皆示した、新 で緻密所は十九年度より移々これ てをわが半局に期待されてあるの 新聞と語の敗消と不可吸の極元深 が積極的開發に弾出すととなった 第である の真鍮に厳し、特に蔵時公克部 高價格決る 稀元素鑛物最

り生産地場奇跡とり最近世岸壁。用することくなった

手の石炭積込設能に對しこれを適

って外生三月が目標館の一點程度

より十七年まで過去五ケ年間に巨貯造目標を決定した昭和十三年 増の十三億五千萬圓になってをり

則を廿七日改正、四月一日とり酒 り石に作び戦闘設施践励会交付規

解散減資の抑制を解除

林柱石は一座につき酸化ベリリ

について政府の許可を関すること 元の解倒なようできます。

【東京館語】歯託の残除味蔵の分

殊決濟不要 千圓以下は特 整備資金指置法ならびと同施行規

法令を公布し即行施行することに

盟」華中より選北向げ逸命は去る

三月廿七旦五千元を限度として許

一日附着もつて右旋行規則の敗正

【東京配話】政府は昨年七月企業 | 大铖次官よりこの旨を報告、五月

な場響を強迫されてある

華中、華北間「上海古

爲替制限撤廢 六日認同

る。恐らく高い文化を持つ國民の

中で我が國程自分の言語に満して い場合が多いのは、碳た道機であ

無関心な魔はあるまいと原はれる

その最も続しむべき結果として、一く感ずる所であらうと思ふ。

国の突破は施置で資金落積の顧明

らねものと強烈され、從つて目標 を消化し來つた従來の質響より推

ナニ版に対し二億八至一億五十萬 して三月中の芸養高は一版国を下

資金浮動化防止の新措置

廿一回、モナズ石では同じく三 率三〇%のもの)及び風信子域 **一种以上于六种、园园子牌** された臨時資金調整法改正法律沿 の新掛けが眺せられることになっ 會に於て成立を見三月十五日施行 則的に抑制して來たが、八十四議 制度が割けるれ、重金運動化防止 よび同施行令欧正によって解放法 係乃至第五十年)及び波音のが記 解放と関する制度器と(第四十九 整備管金指置法施行規則中密社の の被資排展金に對しても特殊決済 人の機能収配の分配金および留計 としこれら朝社の解散、微質を原

が、今回企影覧備資金指聞法施行

決論をすることに定められてある て分級所得税を除いた全額を特殊 配金および観覧振展途については

随多動脈鼠外の公定レートは他ま については姿金を無制限自由と聞

交換を五月一日より開始する旨廿

ライと日本内外地間との鉛面高智 盟」マライ軍政監部に政局ではマー

関し七六日は情報行ならびに大使 でこれを堅持するに決定した石に

> ライと日本内地、朝鮮、台湾、棒 六日敬楽した、爲哲交極地域はマ

現行臨時資金調整法施行令に

ところ五月一日より正常なる資金

難北関係管局間において協議中の も被除するとになり過酸水蛭中、 可されたが、さらにこれが制限を

に関する規定(第五十七條)を削 一八年度に於ける各道の貯蓄質量

五月一日より施行される

割七分增

各連、一月の

右施行令改正赖令位廿八日公布、 ついては特殊決勝を不要とした、 政計を行び、一手四以下のものに 親則の敗正と即應して右施行令の

馬來、本邦間(昭第二

類で最高適金額は一人一ケ月一十

太、南洋、國際州相互間で馬雅和

資金素積好調

郵便為替取扱・七日同一関である

國債の低價買漁等に嚴罰 戦時喪失債券は査定後新交付

七日の定院大智春館において松鵬、社員下物理機に対て経計整理中で、毎日岐正法律の未覚服部分を多國院することに決定した。ようで十一十八年世に反じる各週の貯養養職一一規定領域しておりの場所の企業を開発して 「東京電話」政府は臨時質金調整一個の位便資源など國民の影響質 を阻害する悪ひある行鳥の政務規 付規定を育一日より施行すると 失せる貯蓄収券、報酬収券の新交

汁などの、増売が何めて、東要であった大事にしてあるかを知り得るの である、原併においても一般民衆 質に見ても内地がどの位置が成士一その恵昌左のがし (氏) 関係をもつて関入れると、 国債券を大額大臣指定関係・り 探除したものが指定される されるが、現在銀行、劉仲高の大阪大臣指定機格は近く皆示 開始終止

第1一條 都道府厩市町村その他の

大戸は自治規功章を持腕して

その。他公恵組織の問期的整備

ありたる者に掛しては地方地方公共回鶻の職員にして

第三條町内質、部発智及びその

に魔せられたるとなり又は懲戒を魔士を自治師引官文は突形状を

んことを切留するにほかならぬ

C内鯨の比点に関 年女の状態に

現在の新設或は協力計算が完成

がある、これらの天思を聞へられ トの場所にも切して俟つべきもの

を達成し得ないといふことは一般

展の機相を呈し、

世にかけて被嘱的設

む半島

主原窓をせらめ、間原和の水量石

関係の撃金属工能は 機動性に富

の原料たる巣針、無煙炭などの有 弗化プルミの原料をる番石、整極

力な世際に思れてなり、マグネ

州四條 自治期功度はこれを右肋

の迎を開き、事人

一様の例に描じてこれを実践す

地方公共関係の勝負にして投幹第一体。都河府縣市町村その他の

がある、この故に政府は昨年六

員に誇と氣概

に行されれ、また朝鮮の雙金腿工一

部門の地南と圧して進めなけれ

の特徴は内地と呉つて凡ゆる戦

節もアルミ節においては曹華

バイヤー共、乾ま、マ

れば弦晶石、弗化アルミ、配修苦

他にこれらを境壁するために登

アルミ、マグネを増産せんとす

に席を譲ってゐた、この一つの事

空歸江口親

憲

一なる、即ち頭群は「豚のて「鳥類に

して標留なる能力を有し、アル

自治功勞表彰令

り総督府林産課三津田事務官、交

となり廿八日附属で公布でるが

強し全部を満洲よりの供給に供え 年度の単層用状臓保のため明鮮よればならぬ質情であるので、十九

京で満洲國政府軸に潜林と折衝の 結果、車輌原木、同型状、ペニヤ 週間が田里務官及び明木社製谷常

使用人での他の従事者がその、つた言語表した。
著者、法人苦くは個人の代理人
「恩の治安維持に体動をに関せられる、又法人の代」。 車輛用材を確保 七月より滿洲國が配車

在につき素を言語理事は語る 九年度の里朝用がは耐保された、 沙に成功、第二四半期の七月とり つて豫期以上の成果を収めた、 **学校に選びをみてをり、来学校に選がるのかによる近**

いがであったが、結局七四の

化と思はれてゐたものが實は東京

いて現實的意味では、日本文

第八篇等数较是 長岡 軍統陸軍司政長官(廿七月)

海軍司政長官(廿七日) 東北行大教授 大日方二司 浮 選しい問題を除けて來た作家であ 生態文化を到著した作品活動と というが、これまで朝鮮や神祇の気は個人的こも朝鮮と開係はある たことは大きいな機を持つ。同作

関定部**総管を開催。十八年**旧事第一 総治製ベン工綱和合永満防に将三 総治製ベン工綱和合永満防に将三 製パン聯合會明報製べ 概への報道といるべきであり、種 り、その味用はむしろ活動に第一 力を選、競技、競し、生命の文化 府や戦闘ではこの好機に中央父母 の現役作家道の半時への味明を極 気である▲この放映と放いて、

說明書申越次第33皇

効シル

膜炎

神經病

ルイレキ

社会式構造製品所

に、今後の問題として道場的地位 既合如何にかくつてある、要する 語の意、気管のなるを担害し、 地方関係等の使用に対する理解の 活動域の敗極に努力することも、 やあたが、かうした関係士の生 一人等り七十四の下宿代を掛ける はせつ人々が、己を答しろして企 廿八日總會

社が十分に理解してゐたければな 前に出動競争を行って最高調に追 ぬめのである。聴る工場では戦用 今日要求せられてあるのは徳用域 があることを示するのであって、 を残けるかといいいと言える関心 いると、いかとして関用の成熟 えな前工作も行ばれたが、それ したところで関形をつるといふや 御用の事態と らないのである。熱とすべての被 の間上の名のことが、前級出立政 細の良し思してはなく、労働能率 は間にして見る間を行ふかと 合から

技術脈樂を行び、島級返し前方 復用をして質に凝縮からしめるこ 意識の配上といっことに努力し、

をしていませんであって出て来た。できまる世間間に帰用してある て、根本的な労働者が栄養の現場に関して収む 機かに廻回してある機能の関 るが、動気体件が従來と大気無い を行うて出動率の耐上を願ってゐ 通常な時期に、長期映動者の景理

るが、中には側板影談といったも

のも見受けられる、取る工場では

して見る時は比較的に低いのであ

費用に対する認識が労務者会配と

はいひ難いであらう、このやうに 理解のし方は営用の正しい連繫と

も若干問題がある、勿縁此鬼で

愛一見二 三大を覧名 地標では、住宅問題で困ってゐをとが必要なのである。「果新興工場」

関用をして呼に重要あらしめる治

くめり窓体の日本語がその勢ひに 既則されて殿人滅路に違言代へら 特色である。現今漢語の多なな

國人の冗談を郷る護師に適つて居

て智然演奏に考へならればならな る様になった現 のが、早人とし が成く用るられ、さないかと思ふ位派許が懸草の姉伴の我々の言葉(くの派遣を使用しなければ用が足 國力の速展に一斯く聞きつつも何が故に斯くも多 れつつあるのである。

府は本年度から石炭積込設備に対

目標十二個個に対し一個五千萬個

石炭の修装能率を高めるため顔密

るが、二月天現在の消化落積高は金融機関別の深積高を集計中であ

化女野块

新に獎勵金

しても影響金を交付すること」な

関格を指定、廿六日附官器で告示 機構所では今回度最石の最高販賣

石炭積込設備へ

れてゐる、即ら四月廿日頃各道よ して一鹏七分祭の突破は礪査観さ

國語問題の現状

河

野

郞

漢語が阻塞である事に其の母胎 用ある支那の響き方も遠く及は

にある。如何なる語を如何に世

医金森平丹 板大 店现代量

角田本家 角田 ★ 大阪海峡石田市県町

E

優良品撰擇のこと!!

消化質績の報告が出摘つたので

概を減じた訊とする

常に其場其場の思い付きでしがな れてあるのは疑う不思議を等であ を考へ其の將死を墜へてあるのか はないが、然じ不営に國際の現状 る。成様最近國語の貧败を睨芒國 語の真正を叫る感が聞かれないで い事でありながら、案外無限にさ と云へば必ずしもざっではなく、 然しこの考へ方は顕る非文化的は も宜いと思されるかも知れない。 から、何も回倒な事をいはないで に解へる手段に過ぎないのである もので、假令此が容配されるとし ても現在の朝鮮の様に國語を全く 言葉は窓局自分の思ふ所を相手

いいできる。

以上の様な漢語の特色に耐され

ない。然しが地及び大陸、南方で

もしその機倣に終始するならば、 る内地では成びは適るのから知れ

◇京城首整研究院では半島 砂瀬界の湾オ、ソフラノ圏 野瀬界の湾オ、ソフラノ圏 野連線の興場質を李彦県内 地の杯氏順で明く、同様に東 いの形氏順で明く、同様に東

ことが出來るといる事も見添し難 言合はせて新しい表現を合成する ど無形骸である所から、自由に繁 れない。又支那部が文法的とは殆 多分に好威を持つてある事も事は り一方之に伴ひ漢字音に対しても る馬であるが、此の削減さが我が

此様に教育法は國語のみ話され

1000元である。然し若し好き國

大助教授 一窓盤から始めたければならぬ

せ字句の経路は来角的な事に感

肺肺門尖

膨肋

版 () E M ()

知らざる民衆に國語を知らしめる まりに網然とし過ぎてある事は、 ても現在の壁では数へるのにもあ 必要の起った場合、変際問題とし 一寸此の問題で副立した人の等し 名との劉明に依つて一目瞭然だ

育の日本暦を使ぶと古のかしく<u>感</u> 歌타の方により親しさを感じ、固 て、我々は多くの好き回有の話案

られるものも多々ある様によって せられるか野なめまりに俗に感せ

後く図器作品が文法的に完全な場 政語の意々たる進度はおよそ星の

食がめつても魔人間感にだいて不

全法のは要するに國語の教育に

● 会で「図片器が」網報委員会を「町二ノ九六へ住居」、● 会交人報國会器総会では廿八日 のため廿七日抜東上

孤烂、恐住吃自己

現代の青年層に於る逐脳の最一間然する所があるからである。

などの預貯金形骸による貯臓は 又は報國假常の交付を勧誘する 込めと楷へ國際語号、貯蓄断等 と、大麻大臣の損圧する 反行政を行うを時は行為者のほか人文は個人の皇務に関して選 かその法人又は個人も制金刑を

の好観で七月・も配車を受ける一、出来をごとは大成功であつたった。「輸送についても熱洲幽園」(創定版の三倍に遵うる損を獲得した。「からした」という。「日本によったが、同社にしても、日本のの製材を輸入すること、

帆船、機帆船で輸送寄興

入城の井上商船専務語る

「ボ)茶りで図信服券、貯蓄値券 間々勢で支持ひ物語することは 所規定、職時災害での仲戦時中一、職時要失好害保療など臨時措 受けたものに對しては無行派だ 非規則にも野酒情経文は最 的得ることくなり、右の査定を求要失國債能券養金費の査定を求 見して左の如く語った

(へ)前名頂に繋ぐる行為を除く
のほか楽りに図明、銀行指金で
の他の転達に脚する信用を取扱
すべき行為を除く 一年以下の数役、三十段以下のとと遊反する台場をなした時は 比國政府實報局は廿六日付を以つ 別代表任命 七月間 1七大統領特・【マニラセ その他の特別の指数を設する

> 的開放の第世一回足時期の矛盾を

朝郵八分据置

金六億四千萬圓

風の治安維持に借らせることにな ではいいである。中では、北部ルソンでプロスペロ・サニダツド氏を大 成と情極的な施策が讃せられて

に因素強からぬ関係を有するの

選の地方分散は、現下日本の文化 多の新しい意識を持つ 思京の部市政門は、後 漢的任命にあつた作家

放成を持つてある。これまで日本 際の立直しの上に一つの動物的 學派是 **券市場**

| (本) | (a) | (

D1903















て當適が換交

整賞。……少量にして効果のびよく。のりよく。榮春 百パーセント

10

のため廿七日夜東上のため廿七日夜東上 金 27 h

100克 PKOR

機石法、黄汁園石併用法叫に善汁 金皿工業の緑度性を約束するものに高むことが可能に作る能力を ある新設工場の建設を被切削り確 備の会能学院御と目下郊政会上に て多種多様であると共に、機動性 であるといくよう、かうした大き 蔵を関わればならぬ、そこで観響

士文は確認に対する認識が足りな 元來朝鮮は内地に比較して衛用職 金融の野汗機能を原即に選成させ、 行って本年度朝鮮に負荷された鰹 徴用者を激励せよ 命に大きな問りと頻吸たる気概を して披煙放敞することが必要であ 機管が至期保護者の帰國的努力の もつて米英雄戦の生産域に全力を 軽金属生態質圧減の遊成には先つ

り、また標金質の指表は自然複響。見じた素質であるが、延襲員の引しる一種機能でも含くが肝炎である。い、先日内地流行の際に内地で置く精みの指面に表の確立と反所指揮しているという。 機権が弱く要請されるが、特に祖 らればならぬ、本年度における (ロ)公衆より氏治祭を歩面金額 より低き関格をもつて買入れる 又は非國世界の質別を動誘する

貯蓄文は密附率でくば複数の調。原木の含む十〇萬〇子石の輸入を、 (二)等りに大きへ后の指定する | 結果、車輛原木、同型材、ペニヤー

老子人れるとすれば、 半年も立つ いのである。そこで徴用と同時に を考慮して特に本年は原木と同れ松を置ぶことになり輸送期係

で開始にようて瀬戸内海ど南朝 遊をなすものとしたら、國民はか や信機の高原に別班的生活への強 からう。しかし若し作家選が湘南 宣原者であつた作家達を助方に分 こに関係念への反名を期待してよ させようとしてある。それらの

的生活文化であつた。人々は文化 限ひ込んであたのである人然るに は原見としか生成されてあないと 度の陳明は、その部層文化の 離れることは、そ

分十三間時布濕

腰 神 スロイマチス 海 藤 東 表 素 素 素 表 素 表 変 表 炎 炎 炎 置 炎

₩末 15000 mm

わからぬが、気に倒大切なもので ることである、これは何故かよく あるという観点は他にしてあるら 味を本常に理解してある者は極いなって担では、やはり後用のない なそうけてあると物質の特別が た意味と理解してあるからであ ことで、何か特権の豪敬のやう ある、手管が引上げられる祭の

で存足りるととなったので直接に

が相に対してが分別は集のみ 果工場の如きは彼め多数の斡旋等

場では公然で督折した一工意が、

一ケ月の休暇を貰つたが、一巡閲 傍で舞れる活動を続けた、他の工 増重な細に燃える順調士が機械の

すればならたい出来語である。 つた、出途に続して残じめ着すいから、爪大木関心を向けな、名字それぐ、特殊して明査を行 え、出際に際となりの事 が変する動であらう、関本の 新な要する動であらう、関本の

ない。 ないでは、 ない

勞働實體を把握せよ

鑛山を視る

、退職山の統計模式乃至政権的 問要制に對して完全を回答を得 のであるが、漁殿ながらこ

> に無いてある家族特ち、主として 戦を理解した一緒は長くこの影響 いきとなけかい、一郎は全く だりの 五明は 年間助かれぬと

な味がわからなかった。利用の減

一般ので、動物の関係はや単島。 その間壁には「自分もあり養女」現象を主じたのであるが明べてみ」の希別を呼、たとうろと説する影響にいる時間にうって作っていた。と説する影響にいる時間にうって作っていた。 できょう できょう (種目) しょう (観音) できょう (種目) しょう (世紀) できょう (世紀)

役附が称着である。特定の格楽は

てゐるがこの後輩は彼母にと

称符の窓口製集が非常に容易にな

各地工場議山の用いよ

ちに自分の好むところに紹用して ひない、さうなるとすれば今のう

もらつてそこで常用された方が好

つたことは注目すべきとである。

面の関心が主となってある。他

一類の方法が千芸閣別で、間近

だして成績が認めった。面白いこ

某婦山では人俗の際等、この後、何れの企器に於ても、

衛用心質

ので、これは各工場、郷山、繁豪

の一致した見解である、かうした

徴用の認識未だり

[1]

のであるが、温波ながらこの頭

をことは、經濟上がらも、

政治

北維方面には盗見較經郎員の三

上海、第山に於ても新用に続して一常に吹い、これは一般に前用の約 は開発を育まる親行し、動物を一果がは好であることを印象づける 供しこれと が敬義の 大多数が敬

ことは別の問題である、或る影響

では記夫の一部は衛用を理解し

れを如何に理解してあるかといふ とは、欧用黄州と際して荘目し 高度の労働形態である期用とい 識されてゐるか

倒用は如何に認

の能を熱行した後編井、鳥取、 · 清川、西山、阿山、福根、長崎

終了した、この日も早日鈴木宮司附野の臨時大祭は廿七日間りなく

所の版、本版の版、直督の版を執

强い燃を與へた 像容はこれを叩ぎみた人々にカ

等が神前に参進して腕かに直音祭 から鈴木宮言以下陸海軍院省保官

に引續。空四日間にわたつた韓國神

究職の関東地方の漁族が夫々野

・ でします) こまたは関レマが射手を風色なったが、関係が取る。一般が動きの実制線に関ったがないのでは、解した、 一般の数の田野に刺激物等が最ましたできる。 解した、 定性の数の田野に刺激物等が最まし つ。市場門な歌音観楽に関すべく指導消神を見めて職

遊戯の機構整備を完成した、國家非常の秋 明、學徒動員本部を新設し學校別對徒助員

厰兵造川仁

いつた集分が多なに、生の集神に現在指導的部門とあるいつた集分が多なに、井である、今時の子供、生涯、陽の人からは、生の集神に現在指導的部門のの切替へが大

院のよかには戦俗将「指導者を寄贈の調の切替へが大」でまずるほとりくことである。 陸町、谷水の巣建理が落仕」る若い気が厳値を迎へる際語では「長鬼徒の労戦のことである。 陸町

た、現徒出師の倒稲の協きにいき 時候別様見智士官は黒国を羽抱い 民即戦士の自聲に押り立つて既に関統である。前線総役を担いて図 強勇公に挙ずるのは光輝あるわが

捨て数科術を伏むて征で立つた。 り立つた数多者人に依然とペンを

間と期限を切つた勤労難仕ではど

色々関級になってあるやうをが動ってはならない

覚然であつて生年可な問題であつ らぬ、動勢の潜泉に動する報

農民になった氣持で

食物増産は効下の熱一能勝君に対する要謝をいへば、當

发、理、

一ケ州学福前から瀬田首名が出脚 地に三成年の脚帯と長安仲は場合してはずでに離島間 かに三成年の脚帯と長安仲は場合

ある現状に解る大日本昼道曽李英 にもがらず筋性せんとの希望者が

練習を聞き述へ重要商業に從将中

軍

へ、足、の補

遊休乗用自動車を献納

手のひ誘に類詰壜

成北海 重耀南支部長 池田大郎氏、公城南兵革命へ飛用車(同 比)◆京城長軍部へ親用東(同朝

在住の半島人中最近の疎崩問題の

勞務者に飛椒 酷」際都 李英介氏半島(原原

々の滑り出しである、なほ地方迷

公ととになった

|百七十||頤九十||鏡で椒めて上

さん

となって時間下の人材を作りたい

闘勢の朦朧によって単行質に一個

防施設等に全力を注言をい、

を担郷する本大臥の

質の反感を買る場合もあつたやう

く精神的に風徒を指導し得る幹部

惑ところが知って邪魔になり企業一決して少くない、技術的はともか

撮によっては骨に、物で上げから近に数質される例は、流れてあた、あるエーものの気持とは全く魅ってある。

微兵制初の壯丁椒香は今金属に聞

である、残る無徒が射を決して待

以子神官等神前に参進し、第四日一行こくに臨時大祭の儀は全く終了 なほ廿七日午後松岡中滑指班の 率比した巡本大祭委員長は大祭終 莊嚴な盛儀 捨てよ 委員長談 澤本大祭 熱と意氣で指導した 名他の並々ならね御協力の結果一ない 見學氣分 づれも整線な際間で大して心配は

研究並に関係を充分になさしめ

なく降り在ぐ浪撃砲、機銃の南の

下でじつと待機、やうやく自みが 地兩側の突厥を決行すべく絶え間

手を加へて死物狂の反略をして一旦正側に追語められた敵は紡

た、敵の手榴弾を喰ったのだ 三人目の無人兵を突き刺した時 用りもまた敵兵で埋つてあた、山本兵長の

山本兵 長はなほも 屈せず木立 省中に揮れるやうな厳痛を感じ

ルといる比約極まる最後であらう 殿友の泣いた、部隊長の泣いた、何

島の政金と概念を反映し欧哈に保貯容増開運動の滑り出しは概念年

日から全暦一層に深展げた速度

影消階単省関係者の被変影消は置よりサル日天長の佳節に第一回表

完全間の記録は 全間の記録は

学を遠値した成績関系

名で、順復有功意受賞者は次の如

間に割しては中特に高能率

は政府が実践すること

が祭冠を獲得し、二般大司統首氏以字報

直ちに各道に国際され数ケ月の

思覚ならびに閲覧を

肤受拉着卅七名、在功慧受賞者五

ての心が全く教女との理解は劉一のはそれがら一時間の後であつた。 でんぱら オード 相関を設け 解の 一五一四緒地の完全署項に成功したのから 非らればま 指すリン

文明部域は漢字にかけて五二四高一次、北方商地を早くもが取した突上四月十二日最後の突崖を決意した一部突破が瀬の虚を断いて決行され

酸像は北側高地に進出する頃夜は

の鬼跡も哭く崇高な島軍魂の後尾である。

城跡で撃鳴して手橋館で歌兵路共自場した山本兵長の比烈な差別とそ全部隊が上が、西在天崎を命る比越後したき血蔵でおったが、この高地等級数に範囲に加込み群る酸の寅つ只中に

【カラダン戦線大沼製道班負世五日同盟】カラダンに追い時められた敵が最後の順路を交へ

山本兵長の自爆

でる際は、歌野

を提はせて遠く一等勝者は他らなる施買に避けられ

田方面各地において流説音を開心数在住する本所、深川、在原、新

廿九日から一週間半島的務着の多

発長は同地聯盟員のうら関家は叺澤和、艦騎連時長代建力平巡察系

第 回武功

爲與人員、五十名◆入朋資格

迷子

際に返身功制放解なるものに返身功制放解なるもの

一枚、非政家は各一関づの解出し

段の眺起を促するとになった

いで航空献金 京都温平 部に成的した

晴れの楽冠

法、五月十八日京城府鄉路區屬

朝郵〇〇九

る三月初から四月でか

滑出しは上乘

ず一意戦力増強に連進するやう一

高等女學町木歌談は乙女達の赤賊 行機製作資金とと、な性一川昭和 た合計六千百六十七四世一般を飛

と明せ今回で三十二家となったのであまて、第一回の十八家語

第一回の十八艘遠殿

死力を整して抵抗した五一四高地(カラダが東方セキロ)の攻防こそ今次カラダン治

綽々たる段裕を示した勝鋭空の す激しさを加へつつある時この でに四年、北に西に滅ばまずま 一般敬り行はれました靖國師祉に際し左の如く語った 御庫間に對しまして関ねて御南

のて意大な資務を持つてある。従

敵

中

朗

K

と勅諭

に重點を置いてあることとの節数

東北後方面に多大の困難があり 東北後方面に多大の困難があり 東大線方は5人ない次別であり 東大線方は5人ない大別であり ます、御廷畑の如く大質荷の次 東大線方は5人が実)たの今回 の大祭は多河僧内格領、勢力

ろなお見郷の音楽をかけたが、い など防れ、際在中病気のため手管病院、島小見病院、日本野大病院 大祭儀終日の廿七日湖本大祭委員 を受けてある八名の遺族をらに膨 長は午後一時五十五分から九段近 【東京電話】新國神社時れの臨時 殿診原を停止してうと著へてあた を一旦受け入れた以上は駆使と

撒ひ度い、昔の海へ方を持つて避 然と死て貰ふと却つて邪魔になっ 側役に成私奉公する氣特で働いて 特殊使命を充分に認識し、最軍の 歴程で得定學問を實際に移すこと 行は北藤長の軍刀一閃、世際な錦一散を追つて離るが即らぬ間に散けた東の答を仰いで最後の議職が一來る文字通りの激励であつた敗

なほ受入れ製造の待逃その他につるかを身を以て開験せしめる

り如何にして物材が完成物にな一瞭との間には如何なる差異があっ

統制ある挺身に進む

授び仕事も全く一般工具と同じ田 いては全て営社の工員と同様に取

てある、特技のない師服板として

家族に對し心からなる時間品を暗

の十階増といえ著増続りである。

王三百七十九四八十姓で昨年同期

安映北曾地に関河曹を贈し、全部

京 なり はないできることが、 大変 はなないできる。

の廿五日日と共同主他の下に日内

しとなり、保険料では四十五萬一八千二亩九十一件で昨年の五朝頃

久市氏◆大阪陸瓊満兵廠従上工、山崎 **★昭蓮航空工廠締物工、宮本敏**

八十島三治氏全東京陸東道是

武功旗授與式

秀船を選択して観りまか

(食物に廿世内外)を支給する。

防腐食品として 容職時後とと必

戦を触を知い

までの一個の成績は中級で卅一級 保険では四月一日から保険金額の 殿で年金に野野的数学を示し残に

はあり、食機増産、並荷運搬並は

は受入れ側はどこでもよいことで

集團的な仕事 今成の縁征動員で監 能が受入れることに

であるが、皆社とし く一ケ所に入れて集層的に實際的 に重點を聞く方針である、従って

てはこれらの原徒が な仕事をやらせる方 などを實際的にやらせて見る。 これらの風徒は解死されだれ社

業電鮮朝 全力を盡

> たといる頭を扱いて超いたい 來て難る整律は自分は熱問を修め一般のものを興へる。從つて智能に

するというた著へは一掃せねばな 煙草銭程度のものをお寄げに支給

に関する指令があるとは思ふが、 してなり、朝鮮でもいづれはこれ では規定がありこれに悪いて支給

組織は一個整ひ資際にもすでに温 裸が直接宅の断に能づてあるが、 本年に入つてからも法文観印は 心身を食糧増 産に鍛へん

何時でも動員

それから校内空地の徹底的利用を

し効果を跳げてゐる

程あるので新たなる開墾に横出

陸海軍譽れの有功章

海軍關係は卅六名

選太原場では焼菜 の増産産に熱汗を

> る、年末には繁道橋内の湍貨一掃 見ざし住脈一萬数千本を揃ゑてあ

より第一回表彰を受けるもののう

受解した、軟術者は次の通り電腦に各長群部では脳膜のうちと

変見

上げることにな

動車を散約しようと心ある人達が っては申譯ないと今回遊休報用自足務部長の活胸に足の不自由が必 際は目毎に続忙を極めて來たが、

【東京電話】被御用者表彰規定に (大分)である

ち将軍省関係は盆状受済者三百回

で威廉財を貰つた、漁牟助員とい

の語にある本校の

で働き國家に御奉公して遺び度い から国民となり第一級に出た系特 社の統制指導に完全に服従して心

究室などに出動した、陰陽部に 部は仁川浙兵殿、更に東攻科別
約廿日間軍用地監理に、理工學 に從つて朝鮮、内地の工場、研

高年が道路・駅で、車用地登地に 三年が桁内名様頻楽に、「・」」 最高単年が京成盟軍内院と、 裁判するとともに東拓関語ならび 外の堤地六千坪を選び、野菜気を

場とと理断と的

場で取の赤靴作場に針を飾らせて

でありがあった。この成果は多大な

般の確保機関とは異

事場の受入礼蔵物は整つてゐるが、進復する単純の武法性帰

ある、國家就能に燃えてゐる路で けの戦部がなくてはならぬことで

> なる郷職を持つてあるので、今後 を受け入れたごとがあるし
> 熱校出

身指の錬成ならびに指導にも充分

は爆弾の方が勝つてはあても気つ

生活と修練とを相即一概だらしめんと利してある。工場、工

また若い何州を何けて順場に突進

ろして行機一艘の斑姿を動勢に見

名、解内で数十名を採用して数ケ 今年は内地から歴紀を校出身五十

充分認識 特殊使命を

月間の練成を行って各時場に配配

であっては厳じてならない、

細な作版計様のもとに教育の初知 しよう、しかし重なる勢級の提供

受入れる側として最も注意せね

る、澎湃をる駆戦器の初にわれも

民妹成を効すのは物型の本義であ

に、動勢する側も、これを受けて

の不足に備んでなり東拓としても

朝鮮の屋村は技術員

素統立つた動質本部の指令のもと 氣持になり易い、今回は脳に縫に はゆる。その場取りの無質にな っしても仕事をはやりとし、

級に開けたのだ、文武一階の島國

は出來たが、こつの方面に「動馬への概へを聴く」

てあない、

かざした問題を包蔵す

へである、たべい社に外て導い路

勞務接護に一

萬圓

南鮮親察の山下さん、又も寄附

◇里岡報三近鐵納路環 源州智 (五二四)車) (五二四)車) (五二四)車) (五二四)車) 平70 平 職 元 壹 三 元 元 海州線 納底級 三 元 級 2 三 元 元 海州線 納底級 三 元 級 2 三 元 級

(五二)列車)

01.10

3

ある

大野知事談

もので関係者を指く監機せしめて一

土 海 線

び岩礁場などの削減派遣といる極一 軍人の診察、医師及機関であり直接第一 る特殊便命を有する

は一、一年生は一ケ年間と六十日

規則による統領ある副が医身に

に細心の注意をさし、

と思ひ字が、これの幽島日敷

即教育の大精神を登場させた

悲う、層生の本分と勤勢の一個化

功能を授集せられたるものは転政

日時…四月廿九日

京城府民館

大灩堂 一時 置

本部管下では委任特遇城見多津一

届二民 子為 学世一名、 (東京)暗頻電子では一等荷条員

天長節奉祝

少國民職起人會

ありとになると相似は効果が振る一十名、関係領域が整然指言工大名のの行動が、現は強なる影響者は一計三百七十大名であるが、駅の行

原京電話 被制 清天彩想定记 四十二名 陸軍の表彰者

車(散級者木川府灣町電永正夫

○光州兵 祭祀に大型一人照用

大號 IT를 IIT10]~

田中時計の修理は としその割り率は普通回数券に づく卵車されるものと類似して ものでその巡回標定も朝夕一回

電源水和輸車は一般傾用者に対し、低階級に保ける車種の停車時間 行き情報するが、これについて用。 受利用法の回答を調るというを があれる。 ってでは、以上の如き主旨をも ってある。以上の如き主旨をも 比し担心大幅となりまた歴生 等々京城所の住宅がは腐々送滅で、最愛の妻子と別々に住店する人々

身を練り、金伽道龍に加フる計・ナ、その他命ぎられた仕事にはいい三、四年は百廿日となってをりま

っでも政科賞を閉じて全校生を助

曾建水文部では電投通間の第一百 慰問品を贈呈軍人遺家族に

開展整下では調工工具向影響で氏 照 G 三 以上三名、 高雄密 異論なっては智気服手小野寺極大

順一序

役

することになった、この綜合配給

口 佐 猛

夜七時

所の配給品目は輸送の規制と認み

坂本京常運輸部長一般に要望

内作類を月に五日間、梭外作類)員するつむりです。 住宅難緩和に

という現状だ。これに加へて生活一は人口の密度に配着機構が伴はずーする方針を倒て都市の銀板を促退 住宅を贈の並てる住宅も舞石に水 一種に地震の国際を示してあるとも一種に地震の国際を示してあるとも と移順を批削されたので郊外一院 の振進により郊外の人口常度は高

甲種合格四割

人徵兵檢查

が、激響層の観光が観光四名に図し、合格学の中側四層三分、第二

学品人母子事 「下別位 校五月に開設 西1 当日 校五月に開設 西1 当日 15 原統 東方 登院 東方 登院

は朝を加へて被歌した

解科会の分配」が手張りとなって 第43分ける 山一の投資信託 市――時しいの明報向量
以予概は一切地社で致します。 有和な物典ある山一の投資情能は、

記念的ラーハ

山一證券京城支店

和九湖月共日東京海上大災保險株式和

四十分脳溢血にて死去致候 間此叉店長 染名幹夫處 匹月二十六日

豐 重太後治昭

真治郎藏和夫

置の申告をじたりこのごろ新院な、日午前八時までの所在を置し、そ、満は特別地域調査をする。そのと 與つられた義務を果せ 自己の世際より申告する に作戦のため形勢所外に循形する 答 四人の一般が測在の時期 間前の本線を収入する る、なほ所心の意思なび歌記は出る、なほ所心の意思なび歌記は出 一条原生尼する場合は

世際として翻奏する

答、現在地を本動地と見伽し

(3) 全部に記入かなす(3) 住門像に熟練、本郷像は 卸入する 東南日南会議と経験をひく

1) 開於公孫が終

問別に世界をおう通動の國人と打引挙載である。

人にして関査の時期に主人の店間、別に世界をもつ通勤の間

と減に試験し一萬國を設的したこ一面への接続を見ることとなったが

ついては他の時べて強いて正しい 月日と長役の関係の三つの以前に

派遣しまた見したときは意識門

即が必り、また脚をはでも緊急を

は京城方面と、浴里屋とは平地方

答本類地と声歌上の出生年 前の連携及び記入の仕方につい

と人口製造規則の二つに協力な制

改善務を果し古へすればよい との申告をしないやうに與へられ とで問題になってある解釈人口な

間調査の時期に旅館などに 何泊中の巨人展展を調査を要す

部に現在した者は何れの世俗に

広郷が主人の世俗である

は部隊と認めて調査の必要がない

問防空転船隊の調査は

間今

告を妨げた指に對して資機調査法 申告をした岩、製造を数なく調准 それはいかん勢が着に割する不

半段に近いても単縁に何とかし

護源線(朝鮮資牧線)の各別草は

名、三 男女の別、四 出生の年

ある帰國班回盟校をみて取へばよ

月日、五 配偶者の何無六 所願しい、それでもなほ解となければ人

現在買収削の時数で連載してある

たいと思ってある

発ない。内地等の例にならい

黄海線

答問

調新班通用

| 田川及本郷、二 氏 | 駅は下でに終行した離舶の心さて ボリカ川 | しては調査は調査が必ず、一般国

関変の部門をその際に母ぐも不

答

四月世日またはその以前 旅館ではどうするか

に出続する旅客に対しては五月一

申告は正しくの手引き事

関連をす。その他の軍人拡聯は調一に世幣の加い場合は独日開宅レル

る接続にようか、短聴物等の施

進することと何ずる 何に感吸し奮烈一番場下投も折回

時間投資統治等が設建改成し

世七日午後剛貞を標同能山

製船人員等必ずや山下作業団の環境へない。全部推薦の粉着及び機

新校語」以·行政在89回注目

極めて熱心に現地の状況を聴取視

(五01列車) 1171五 1四70五 1六1五 (五05列車) 1七110 1九10 1171八 類別数 別級 土成階

定期券に協力を

(五〇) 列車) 「〇'四〇 Thr'Oùi |四'nio

所に任ひ五月 1日から定期数の歳 この制度は事内に於ける。 今回の極率、 頭合目則追迎域の歳 し次のやうに収蔵してある

四三五一七〇五一八三五

√沙海線

動の温い思びやりが取力増弱の

が、大変、本線との接触が不能なので の、気感地 方変重調では 五月 1日か 3 の 気感地 方変重調では 五月 1日か 3

從業上の地位、八、兵役の関係、

をすることである

答 申告を指心を活、不完の

民間及住場町。十 星龍の十

の耐能及び腑臓及特殊技能、七

一口開発はじょくきいて正しい胆人

不實の申告は嚴罰

こととなり、世日を記の如くぬ

一項目である

間・古自について中告でる

要した、暗影整によって、通路

根源である。僅かであるが勞務

文もや一萬田を投げ出した。山

秦祖女人城第一日の廿二日級

の部屋に三人が同屋する下僧は、一御郷にしてきた一番は都市職の類しる。ないない間であるので今後、呼ばは神るのが出版に無い、大量・影響がある戦略問題がからか得く、他のて、離市職のはは、ふやうには呼ばれば、 町會單位に綜合配給所を設置 所を設置し郊外のは結機構を影響 企業を終として領集地吸にあ らず、といるな情であるので今後 る店舗を題放して郊外へ選店 ものとみられる 合せ鮮酸自給品を主限に少数の主 要物質に限定しその規模は五百月 受験旅客を優先扱ひ

異なが客の整弦像保を目ざし其人 変通局では去る一日から旅客輸送 に彼此的制限を動行するとともに

びに成力増弱の直接関連する特殊 野幅および冒公里の公務旅行なら

および各種獲成所ならびと訓練所 自社の此格派行者は保生取扱いを のはこれを歴史取扱とすることと 受験がまたは、前日本所持するも なご十七月この日各門に担じ の受唆されている。人所者にして

天長節奉祝の夕 **會場** 京城府民館 日時 □四月廿九日 大灘堂

が気温 **基** 京京 開催)へ、ないらって、空間大道発達一部森田山窓 日城 報 佐猛 祉府

車 (同京依代家無稽賢六郎氏) 所議習生事集 方記要 地方官更養成 概察時地 氏) 《明耀人雅

京切交店長歩谷桥天民は廿六日午 東沿城上次投保級 四ノニミニの自宅で教行した

楽中であるが、その要項

で勢行する

火したるの、山脈は約二甲四 失したのみで制火原因はニクロー 任候 候間茲に 生前の 御厚誼を 十六日 午後二時四十分脳 日午後三時自宅に於て帰式に依り相談

に制分的長いそれに班長等約夏五 から所内第一開出版に各分質長期 長の死元を傷に、廿八日午後一時 サ名を指揮が開始を明を開合せ返 決敗生殖の最不問題について勝利 理學的 國産兵器工業株式 會社 御通知 田倉 國之

な言語職を禁げる

東四軒町の火事



ものでも差支へありません

尚は御持巻せらるる投襲瓶は何れの病院の

に至り ましたので・悪しからず 御歌寒願ひむなく水樂の調劑を御蘭り申上ぐる外なきを方に對しては甚た御嶽華に存じますが止きが出たり残骸を御持鍪願ひます若し御持鍪な必ず投襲版を御持鍪願ひます若し御持鍪な 投薬紙の入手総々困難となりましたので脚 今御來院の際は新來患者でも再來患者でも 投藥瓶の活用に付御願

了の日迄株式名跡の建湊並に強痛に関する登里は株件で一十八五年

家川兒

傳十二指腸丸 中橋幸馬

1本金 1 800 mm~~

所

府